

- 1 平安時代中期に、貴族社会を題材とした長編物語『源氏物語』を執筆した女性作家は誰？
① 紫式部 ② 清少納言 ③ 和泉式部 ④ 菅原孝標女
- 2 894年に菅原道真の提案によって中止され、日本独自の文化を発展させるきっかけとなった出来事を何という？
① 長岡京遷都 ② 大化の改新 ③ 平城京遷都 ④ 遣唐使の廃止
- 3 平安時代に瀬戸内海地方で海賊を率いて反乱を起こした人物は誰？
① 平将門 ② 藤原純友 ③ 藤原秀郷 ④ 平貞盛
- 4 平安時代に地方政治の乱れに乗じて力をつけ、やがて中央政治にも影響を与えた存在を何という？
① 僧侶 ② 貴族 ③ 武士 ④ 農民
- 5 平安時代に宮廷の出来事や自然の美しさを短文でつづった、日本最古の随筆を著した女性是谁？
① 清少納言 ② 和泉式部 ③ 紫式部 ④ 菅原孝標女
- 6 日宋貿易で力をつけた平氏一族が厚く信仰した、安芸国にある神社を何という？
① 春日大社 ② 日光東照宮 ③ 出雲大社 ④ 厳島神社
- 7 平安時代中期、天皇の后を出すことで政治の実権を握った代表的な一族は誰？
① 平氏 ② 源氏 ③ 藤原氏 ④ 橘氏
- 8 空海が開いた高野山の金剛峯寺が総本山である、平安時代に広まった仏教の宗派を何という？
① 法相宗 ② 真言宗 ③ 浄土宗 ④ 天台宗
- 9 平安時代後期に貴族の間で流行した、死後に阿弥陀如来の助けを借りて極楽浄土へ生まれ変わることを願う考え方を何という？
① 浄土信仰 ② 禅宗 ③ 密教 ④ 儒教
- 10 比叡山で修行を積んだ僧たちが鎌倉時代に開いた、新しい仏教の宗派の総称を何という？
① 原始仏教 ② 南都北嶺の仏教 ③ 平安二宗 ④ 鎌倉新仏教
- 11 平安時代中期に『枕草子』を著し、宮廷生活の機微を描いた人物は誰？
① 紫式部 ② 和泉式部 ③ 清少納言 ④ 小野小町
- 12 平安時代中期に、地方の統治や徴税などの実務を一任された地方官を何という？
① 郡司 ② 国司 ③ 太宰帥 ④ 目代
- 13 939年、関東地方を拠点として朝廷に反旗をひるがえした武士は誰？
① 平将門 ② 藤原秀郷 ③ 藤原純友 ④ 平貞盛
- 14 平安時代中期、かな文字が普及し、日本の風土や生活感情が反映されるようになった、日本独自の文化を何という？
① 天平文化 ② 鎌倉文化 ③ 国風文化 ④ 室町文化
- 15 平安時代初期、地方政治の立て直しを図り、国司への監督を強化した天皇は誰？
① 後醍醐天皇 ② 桓武天皇 ③ 天武天皇 ④ 聖武天皇



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	紫式部 は藤原道長の娘に仕えた女房であり、宮廷社会の複雑な恋愛や人間模様を描いた長編小説『源氏物語』を執筆しました。		1 紫式部	☐
2	894年、朝廷で活躍した菅原道真の建議により、遣唐使の派遣は停止されました。		4 遣唐使の廃止	☐
3	藤原純友 は、瀬戸内海を拠点とする海賊のリーダーとして勢力を持ち、朝廷に対して反旗をひるがえしました。		2 藤原純友	☐
4	武士 は、自らの土地や一族の生活を守るために武装した、地方の豪族や有力者たちです。		3 武士	☐
5	清少納言 は、中宮定子に仕える中で見聞きしたことや、四季の美しさなどを鋭い観察眼で書き記しました。		1 清少納言	☐
6	平氏一族は、安芸国にある 厳島神社 を厚く信仰し、社殿を豪華に造り替えました。		4 厳島神社	☐
7	藤原氏 は、自分の娘を天皇に嫁がせて生まれた子を次代の天皇にすることで、天皇の親戚（外戚）として権力を振るいました。		3 藤原氏	☐
8	真言宗 は、空海が唐から持ち帰った密教の教えに基づく宗派です。		2 真言宗	☐
9	浄土信仰 は、阿弥陀仏を信じ、その名（南無阿弥陀仏）を唱えれば、死後に極楽浄土へ行くことができるという教えです。		1 浄土信仰	☐
10	そこで学んだ法然、親鸞、道元、日蓮、栄西などは、厳しい修行や学問が困難な民衆や武士のために、より平易な教えを創設しました。これが 鎌倉新仏教 と呼ばれる一連の宗派です。		4 鎌倉新仏教	☐
11	清少納言 は、中宮定子に仕えた女房です。		3 清少納言	☐
12	国司 は地方の政治や徴税を一手に引き受ける地方官です。		2 国司	☐
13	平将門 は、関東の有力者として朝廷の支配に対して反乱を起こしました。		1 平将門	☐
14	国風文化 は、かな文字の発明によって大きく開花しました。		3 国風文化	☐
15	桓武天皇 は長岡京を経て平安京へ都を移し、国家の立て直しを行いました。		2 桓武天皇	☐

言えなかった用語ノート